



## VXLAN 対応 Flexible Netflow の設定

- VXLAN 対応 Flexible Netflow に関する制約事項（1 ページ）
- VXLAN 対応 Flexible Netflow に関する情報（1 ページ）
- VXLAN 対応 Flexible Netflow の設定方法（2 ページ）
- VXLAN 対応 Flexible Netflow の設定例（7 ページ）

### VXLAN 対応 Flexible Netflow に関する制約事項

VXLAN 対応 Flexible NetFlow を使用したトラフィックキャプチャは、ユニキャストトラフィックに制限されます。

### VXLAN 対応 Flexible Netflow に関する情報

Flexible NetFlow (FNF) では、フローを使用して、アカウンティング、ネットワークモニタリング、およびネットワークプランニングに関連する統計情報を提供します。VXLAN 対応 FNF は、ネットワーク内の VXLAN カプセル化 IPv4 および IPv6 パケットに関する情報を提供します。VXLAN 対応 FNF は、ブリッジドトラフィックとルーティッドトラフィック両方の VXLAN フロー情報をキャプチャします。

フローは送信元インターフェイスに届く単方向のパケットストリームで、キーの値は同じです。キーは、パケット内のフィールドを識別する値です。フローを作成するには、フローレコードを使用して、フロー固有のキーを定義します。FNF を使用すると、大量の定義済みフィールドの集合からキーを選択して、特定のアプリケーションに最適なフローレコードを定義できます。1 つのフローと見なされるパケットでは、すべてのキー値が一致している必要があります。フローは FNF キャッシュに格納されます。FNF の収集したフローのデータを、エクスポートを使用してエクスポートできます。

BGP EVPN VXLAN ファブリックでは、VTEP の NVE インターフェイスとスパインスイッチの物理インターフェイスに FNF モニタが設定されます。FNF の詳細については、『*Network Management Configuration Guide*』の「Configuring Flexible NetFlow」モジュールを参照してください。

# VXLAN 対応 Flexible Netflow の設定方法

VXLAN対応 FNF を設定するには、次の手順を実行します。

1. フローにキーフィールドおよび非キーフィールドを指定して、フローレコードを作成します。
2. エクスポートプロトコルと転送宛先ポート、送信元やその他のパラメータを指定して、フロー エクスポートを作成します。
3. フロー レコードおよびフロー エクスポートに基づいて、フロー モニターを作成します。
4. フローモニタを VTEP のネットワーク仮想化エッジ (NVE) インターフェイスに適用します。



(注)

この項に記載されているコマンドは、VXLAN 対応 FNF にのみ適用されます。FNF 詳細な設定手順については、『Network Management Configuration Guide』の「Configuring Flexible NetFlow」モジュールの「How to Configure Flexible Netflow」セクションを参照してください。

## フローレコードの設定

VXLAN 対応 FNF のフローレコードを設定するには、次の手順を実行します。



(注)

この設定タスクに記載されているすべての **match** コマンドは必須です。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b>  例： Device> <b>enable</b>	特権 EXEC モードを有効にします。  プロンプトが表示されたらパスワードを入力します。
ステップ 2	<b>configure terminal</b>  例： Device# <b>configure terminal</b>	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	<b>flow record flow-record-name</b>  例： Device(config)# <b>flow record vxlan_nf_record_input</b>	フロー レコードを作成し、フロー レコード コンフィギュレーション モードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
		<p>このコマンドでは、既存のフローレコードを変更することもできます。</p> <p>(注) 各アドレスファミリ（IPv4 および IPv6）および各トラフィック方向（入力および出力）に固有のフローレコードを設定することを推奨します。</p> <p>入力トラフィックのフローレコードに <b>input</b> キーワードが設定された <b>match</b> コマンドがあることを確認します。</p> <p>出力トラフィックのフローレコードに <b>output</b> キーワードが設定された <b>match</b> コマンドがあることを確認します。</p>
<b>ステップ 4</b>	<b>match datalink vlan {input   output}</b> 例： <pre>Device(config-flow-record)# match datalink vlan output</pre>	VLAN ID（入力または出力トラフィック用）を FNF フローレコードのキー フィールドとして設定します。 <p>(注) <b>vlan input</b> および <b>vlan output</b> フィールドを忘れずに設定してください。これらのフィールドは、VXLAN 対応 FNF が EVPN 入力および出力トラフィックフローで動作するために必要です。</p>
<b>ステップ 5</b>	<b>match routing vrf input</b> 例： <pre>Device(config-flow-record)# match routing vrf input</pre>	VRF ID（入力または出力トラフィック用）を FNF フローレコードのキー フィールドとして設定します。 <p>(注) <b>vrf input</b> フィールドを忘れずに設定してください。このフィールドは、VXLAN 対応 FNF が EVPN 入力および出力トラフィックフローで動作するために必要です。</p>

## フロー エクスポートの設定

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 6	<b>match vxlan vtep {input   output}</b> 例： <pre>Device(config-flow-record)# match vxlan vtep output</pre>	VTEP IDを、FNF フロー レコードのキー フィールドとして設定します。 <b>input</b> キーワードは、キャプチャされた フロー内の VTEP 送信元 IP アドレスを 示します。 <b>output</b> キーワードは、キャプチャされた フロー内の VTEP宛先 IP アドレスを 示します。
ステップ 7	<b>match vxlan vniid</b> 例： <pre>Device(config-flow-record)# match vxlan vniid</pre>	VXLAN VNI ID を、FNF フロー レコードのキー フィールドとして設定します。
ステップ 8	<b>end</b> 例： <pre>Device(config-flow-record)# end</pre>	特権 EXEC モードに戻ります。

## フロー エクスポートの設定

VXLAN 対応 FNF のフロー エクスポートを設定するには、次の手順を実行します。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b> 例： <pre>Device&gt; enable</pre>	特権 EXEC モードを有効にします。 プロンプトが表示されたらパスワードを 入力します。
ステップ 2	<b>configure terminal</b> 例： <pre>Device# configure terminal</pre>	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	<b>flow exporter flow-exporter-name</b> 例： <pre>Device(config)# flow exporter e1</pre>	フロー エクスポートを作成し、フロー エクスポート コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 4	<b>destination ipv4-address</b> 例： <pre>Device(config-flow-exporter)# destination 172.16.103.2</pre>	エクスポートに IPv4 宛先アドレスまたはホスト名を設定します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 5	<b>source</b> <i>interface-type interface-number</i> 例： Device(config-flow-exporter) # <b>source</b> <b>TenGigabitEthernet1/5/0/3</b>	設定された宛先でNetFlow コネクタに到達するために使用するインターフェイスを指定します。 送信元 IP アドレスがファブリックごとに一意であることを確認します。 (注) VTEP ごとに一意のループバックを設定することを推奨します。 (注) フローエクスポートは、送信元インターフェイスとしてアンナンバード IP インターフェイスをサポートしていません。
ステップ 6	<b>ttl</b> <i>seconds</i> 例： Device(config-flow-exporter) # <b>ttl</b> 4	エクスポートによって送信されるデータグラムの存続可能時間 (TTL) 値を設定します。 範囲は 1 ~ 255 秒です。デフォルトは 255 です。
ステップ 7	<b>transport udpport-number</b> 例： Device(config-flow-exporter) # <b>transport</b> <b>udp 2055</b>	NetFlow コレクタに到達するために使用する UDP ポートを指定します。
ステップ 8	<b>export-protocol {ipfix   netflow-v9}</b> 例： Device(config-flow-exporter) # <b>export-protocol ipfix</b>	エクスポートで使用される NetFlow エクスポートプロトコルのバージョンを指定します。
ステップ 9	<b>end</b> 例： Device(config-flow-exporter) # <b>end</b>	特権 EXEC モードに戻ります。

## フロー モニタの設定

VXLAN 対応 FNF のフローモニタを設定するには、次の手順を実行します。

## ■ NVE インターフェイス上の Flexible NetFlow の設定

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b> 例： Device> <b>enable</b>	特権 EXEC モードを有効にします。 プロンプトが表示されたらパスワードを入力します。
ステップ 2	<b>configure terminal</b> 例： Device# <b>configure terminal</b>	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	<b>flow monitor flow-monitor-name</b> 例： Device(config)# <b>flow monitor vxlan_nf_monitor_input</b>	フロー モニタを作成し、フロー モニタ コンフィギュレーション モードを開始します。 このコマンドでは、既存のフロー モニタを変更することもできます。
ステップ 4	<b>exporter flow-exporter-name</b> 例： Device(config-flow-monitor)# <b>exporter e1</b>	以前に作成されたフローエクスポートの名前を指定し、指定されたフローモニタに関連付けます。
ステップ 5	<b>record flow-record-name</b> 例： Device(config-flow-monitor)# <b>record vxlan_nf_record_input</b>	フロー モニターのレコードを指定します。
ステップ 6	<b>end</b> 例： Device(config-flow-monitor)# <b>end</b>	特権 EXEC モードに戻ります。

**NVE インターフェイス上の Flexible NetFlow の設定**

VTEP の NVE インターフェイスに VXLAN 対応 FNF を設定するには、次の手順を実行します。

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b> 例： Device> <b>enable</b>	特権 EXEC モードを有効にします。 プロンプトが表示されたらパスワードを入力します。

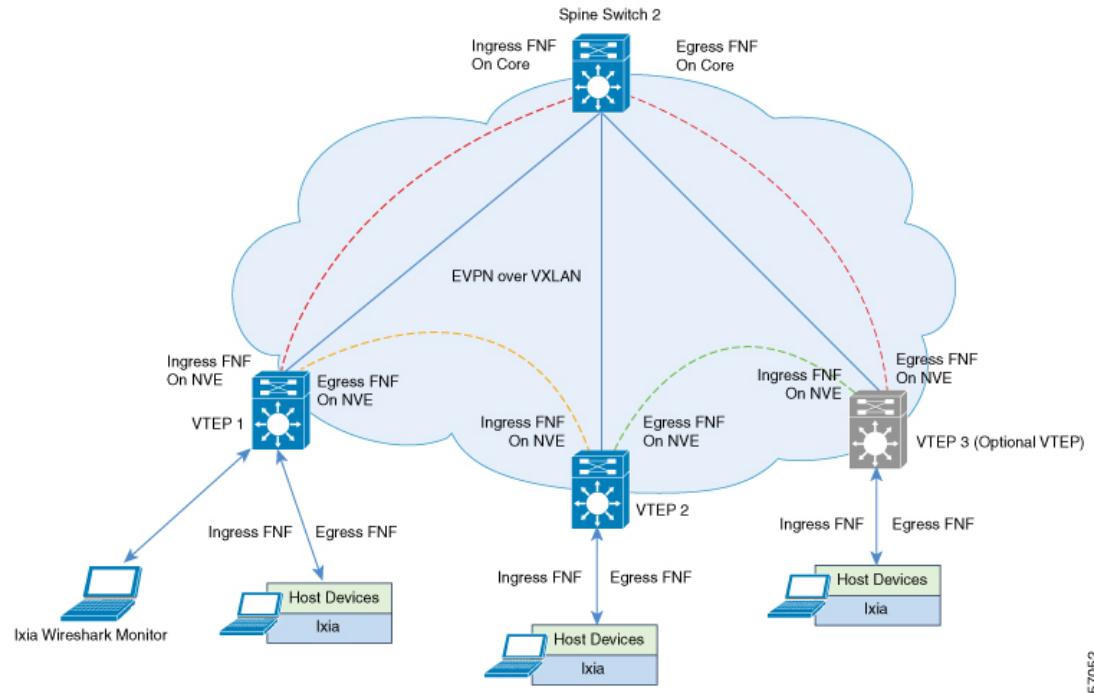
	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 2	<b>configure terminal</b> 例： Device# <b>configure terminal</b>	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	<b>interface nve-interface-number</b> 例： Device(config)# <b>interface nve1</b>	ネットワーク仮想化エッジ (NVE) インタフェイス番号を指定して、インターフェイス コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 4	<b>ip flow monitor flow-monitor-name {input   output}</b> 例： Device(config-if)# <b>ip flow monitor vxlan_nf_monitor_input input</b>	入力パケットまたは出力パケットのNVE インタフェイスに IPv4 フロー モニターを関連付けます。
ステップ 5	<b>ipv6 flow monitor flow-monitor-name {input   output}</b> 例： Device(config-if)# <b>ipv6 flow monitor vxlan_nf_v6monitor_input input</b>	入力パケットまたは出力パケットのNVE インタフェイスに IPv6 フロー モニターを関連付けます。
ステップ 6	<b>end</b> 例： Device(config-if)# <b>end</b>	特権 EXEC モードに戻ります。

## VXLAN 対応 Flexible Netflow の設定例

このセクションでは、次のトポロジを使用した VXLAN 対応 FNF の設定例を示します。

## VXLAN 対応 Flexible Netflow の設定例

図 1: VXLAN 対応 Flexible NetFlow を含む EVPN VXLAN トポロジ



357052

## VXLAN 対応 Flexible NetFlow を有効にするための VTEP 1 の設定

次の表に、VXLAN 対応 FNF を有効にするための VTEP 1 の設定例を示します。

表 1: VXLAN 対応 Flexible NetFlow を有効にするための VTEP 1 の設定

**VTEP 1**

```
Leaf-01# show running-config

<snip: only config relevant to vxlan netflow is shown>
flow record vxlan_nf_record_input
match datalink vlan input
match datalink mac source address input
match datalink mac destination address input
match routing vrf input
match ipv4 ttl
match ipv4 protocol
match ipv4 source address
match ipv4 destination address
match transport source-port
match transport destination-port
match transport icmp ipv4 type
match transport icmp ipv4 code
match transport igmp type
match interface input
match flow direction
match vxlan vnid
match vxlan vtep input
match vxlan vtep output
collect counter bytes long
collect counter packets long
collect timestamp absolute first
collect timestamp absolute last
!
flow record vxlan_nf_record_output
match datalink mac destination address output
match ipv4 protocol
match ipv4 source address
match ipv4 destination address
match transport source-port
match transport destination-port
match datalink vlan output
match vxlan vnid
match vxlan vtep input
match vxlan vtep output
collect counter bytes long
collect counter packets long
collect timestamp absolute first
collect timestamp absolute last
!
```

## ■ VXLAN 対応 Flexible Netflow の設定例

**VTEP 1**

```

flow record vxlan_nf_v6record_input
  match datalink vlan input
  match routing vrf input
  match ipv6 protocol
  match ipv6 source address
  match ipv6 destination address
  match transport source-port
  match transport destination-port
  match vxlan vnid
  match vxlan vtep input
  match vxlan vtep output
  collect counter bytes long
  collect counter packets long
  collect timestamp absolute first
  collect timestamp absolute last
!
flow record vxlan_nf_v6record_output
  match datalink vlan output
  match ipv6 protocol
  match ipv6 source address
  match ipv6 destination address
  match transport source-port
  match transport destination-port
  match vxlan vnid
  match vxlan vtep input
  match vxlan vtep output
  collect counter bytes long
  collect counter packets long
  collect timestamp absolute first
  collect timestamp absolute last
!
flow exporter e1
  destination 172.16.103.2
  source TenGigabitEthernet1/5/0/3
  ttl 4
  transport udp 2055
  export-protocol ipfix
!
flow monitor vxlan_nf_monitor_input
  exporter e1
  cache timeout inactive 100
  cache timeout active 100
  record vxlan_nf_record_input
!
!
flow monitor vxlan_nf_monitor_output
  exporter e1
  cache timeout inactive 100
  cache timeout active 100
  record vxlan_nf_record_output
!
!
flow monitor vxlan_nf_v6monitor_input
  exporter e1
  cache timeout inactive 100
  cache timeout active 100
  record vxlan_nf_v6record_input
!
```

## VTEP 1

```
flow monitor vxlan_nf_v6monitor_output
  exporter e1
  cache timeout inactive 100
  cache timeout active 100
  record vxlan_nf_v6record_output
!
interface nve1
  ip flow monitor vxlan_nf_monitor_input input
  ip flow monitor vxlan_nf_monitor_output output
  ipv6 flow monitor vxlan_nf_v6monitor_input input
  ipv6 flow monitor vxlan_nf_v6monitor_output output
!
Leaf-01#
```

## IPv4 入力フロー モニタ キャッシュ出力の確認

次に、VTEP 1 での IPv4 入力フロー モニタ キャッシュ 出力を確認するための出力例を示します。

## VXLAN 対応 Flexible Netflow の設定例

```

43517376          43172    14:00:41.391    14:01:34.391
                  12  AAAA.CCCC.1004           AAAA.BBBB.1004      3
(13vni5001)        192.168.12.3     192.168.12.2      0
                  0             0   Null           Input      0
  10012  2.2.2.2          1.1.1.1      61      64
43517376          43172    14:00:41.391    14:01:34.391

```

Leaf-01#

## IPv4 出力フロー モニタ キャッシュ出力の確認

次に、VTEP 1 での IPv4 出力フローモニタキャッシュ出力を確認するための出力例を示します。

### IPv6 入力フロー モニタ キャッシュ出力の確認

次に、VTEP 1 での IPv6 入力フロー モニタ キャッシュ出力を確認するための出力例を示します。

```
Leaf-01# configure terminal
Leaf-01(config)# show flow monitor vxlan_nf_v6monitor_input cache format table

Cache type: Normal (Platform cache)
Cache size: 10000
Current entries: 4

Flows added: 8
Flows aged: 4
- Inactive timeout ( 100 secs) 4
IPV6 SRC ADDR IPV6 DST ADDR
TRNS SRC PORT TRNS DST PORT VXLAN VXLAN VNID VXLAN VXLAN VTEP INPUT VXLAN
VXLAN VTEP OUTPUT IP PROT bytes long pkts long time abs first
time abs last
=====
=====
=====
192:168:12::3 192:168:12::2
0 0 10012 2.2.2.2 43172 1.1.1.1
59 43517376 14:00:41.391
14:01:34.391
192:168:10::3 192:168:10::2
0 0 10010 2.2.2.2 43172 1.1.1.1
59 43517376 14:00:41.391
14:01:34.391
192:168:13::3 192:168:13::2
0 0 10013 2.2.2.2 43172 1.1.1.1
59 43517376 14:00:41.391
14:01:34.391
192:168:11::3 192:168:11::2
0 0 10011 2.2.2.2 43172 1.1.1.1
59 43517376 14:00:41.391
14:01:34.391

Leaf-01#
```

## VXLAN 対応 Flexible Netflow の設定例

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。